



道しるへ

「この道の向こうには、夢がある」

令和7・8
No.68



景気は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス等の感染症による影響や円安、石油や小麦など原材料費の上昇による物価高騰が長引き、私たちの生活は厳しい状態が続いています。

コロナ禍で困窮していた令和3年から毎年、京都府から食料品・生活必需品配布事業を実施していただいておりますが、これに加えて令和7年3月には、京都府と京都府社会福祉協議会が共同で、こどもの居場所や子ども食堂に対し、物価高騰対策緊急生活支援事業を実施してくださり、これを受けて各居場所で食料品等の配布を行うことができました。

令和6年の秋から続く米の不足と高騰、あらゆるものが値上がりする状況を踏まえ、米をはじめ、調味料や洗濯用洗剤、トイレトペーパーなどの生活に必ず必要なものを中心として、会員の方々にお届けすることができました。



米、砂糖、しょうゆ、サラダ油、みりん、料理酒、洗濯用洗剤、台所用洗剤、指定ゴミ袋



皆さんの生活に必要な品物でとても喜んでいただきました。



サラダ油、ツナ缶、海苔、即席みそ汁、マヨネーズ、めんつゆ、洗濯用洗剤、台所用洗剤、食品ラップ、指定ゴミ袋

役員の方みんなで仕分けするのは大変でしたが、受け取った皆さんから「助かります」「ありがたいです」との声を聞きました。



砂糖



米、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、台所用洗剤

米の入手が難しかったですが、大変喜ばれました。



カップスープ、ふりかけ、洗濯用洗剤

今の時期にいただけるのはタイムリーで嬉しいと笑顔でした。



結成75周年記念 令和7年度京都府母子寡婦福祉大会 及び全体研修会

今年は結成75周年の節目にあたります。

知事表彰及び会長感謝状の贈呈式、体験発表、会場を盛り上げてくださるアトラクション！

みなさん！ぜひお出かけください。

日時 令和7年10月12日(日) 13時～16時

場所 京都テルサ(京都市南区)



(昨年の大会の様子)

新役員紹介

～令和7年7月
評議員が改選されました～

京都府母子寡婦福祉連合会 評議員

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 浦田 雅夫 (京都女子大学 教授) | ※ 新任 ※ |
| 足立 操 (京都府社会福祉協議会常務理事) | ※ 新任 ※ |
| 白石 真古人 (京都新聞社会福祉事業団常務理事) | |
| 松井 やす子 (京都府民生児童委員協議会副会長) | |
| 東 美佐子 (前京都府母子寡婦福祉連合会会長) | |
| 平 清美 (前京都府母子寡婦福祉連合会母子部長) | |
| 儀貝 英雄 (元京都府ひとり親家庭自立支援センター副センター長) | |
| 水島 幸子 (元京都府健康福祉部家庭支援課長) | |

楽しいがいっぱい

物価高騰の中、ひとり親家庭の子どもとそのお母さんを様々な団体が応援してくださってます。

日本生命保険相互会社大阪・関西万博推進部から、2025年大阪・関西万博のチケットの寄贈をいただき、こどもの居場所を通じてチケットを配布させていただきました。

参加された方の感想をご紹介します。

- ・ 当地の食べ物を食べられてよかった。クロコダイルは美味しかった。びっくりした。
- ・ ナシゴレンで、米の違いにびっくりした。
- ・ よく知っている国は、列が長くて並べなかったけれど、知らない国を知った。
- ・ テマパークのようで面白かった。
- ・ 行きたかったフランスのパビリオンでは、美しい建築とおしゃれな展示に感動しました。様々な芸術に触れることができ、世界各地の魅力を身近に感じられる楽しい体験ができました。
- ・ 親子で楽しい時間を過ごせました。事前にパビリオンの予約が全く取れず苦戦しましたが、当日並んだものの、海外パビリオンにたくさん行くことができました。
- ・ 万博では、世界中の国々の文化を知ることができ、とても貴重な体験をすることができました。パビリオンでは映像や展示などがたくさん見れ、まるでその国に行ったかのような感覚にありました。

先生や中学生のお姉ちゃんに助けてもらい、英語でインタビューをしました。どの国の方も笑顔で応えてくださいました。



京都府立陶工高等技術専門学校から訓練生が製作した器をいただき、6月7日（土）、長岡京市三つ和母子会のこどもの居場所で開催されました。

京都府立陶工高等技術専門学校でやきもの職人を目指す訓練生の方が作られた京焼・清水焼の伝統的な図柄の小鉢や湯のみなどを、きょうとフードセンター（京都府社会福祉協議会）を通じて、こどもの居場所や子ども食堂にいただきました。



贈呈式には訓練生の方も出席され、絵付けの様子などのお話を聞くことができました。



京都府から、5月11日（日）京都サンガF.C.「WEラブ赤ちゃんアンバサダー」就任のキックオフイベントにご招待いただき、試合を観戦することができました。

参加された方の感想をご紹介します。

ぼくは、お母さんと5月11日に亀岡のサンガスタジアムに京都サンガVS名古屋グランパス戦を見に行ってきました。今年も招待してくれてありがとうございます。今回3回目、毎年とても楽しみにしています。

ぼくは、4歳からサッカーを習っています。今10歳で、毎日サッカー教室に行ってます。将来の夢はサッカー日本代表です。サンガには日本代表に選ばれた川崎そうた選手がいます。川崎選手のプレーを目の前で見て、もっともっとがんばろうと思いました。

サンガスタジアムに入ると、いつもサポーターの声と熱気ですごくエキサイトします。今回は1-1引き分けでしたが、とてもいいゲームでした。楽しかったです。



京セラ株式会社から、6月28日（土）、京セラギャラリーで開催の特別展「表現のそれから」に関連するワークショップ「大切なものをアーカイブする」にご招待いただきました。

大がかりなカメラで大切なものの写真を撮り、「なぜ大切なのか」「いつから持っているのか」などの情報を台紙に書いて、そこに写真を貼りました。

どのように写真を撮ろうかと向きを考えたり、大切なものに出会った時のことを思い出したりしている子ども達の表情は真剣で、写真ができてくるのを待っている間、目がキラキラしていました。



京都府の推薦により、公益財団法人日本生命財団から宇治市連合母子会が児童・少年の健全育成助成をいただきました。

贈呈式では、北野ますみさんが出席者を代表してお礼を述べました。



ドリームキャッチ野球体験教室

日本プロ野球選手会と母子連の共催で、野球体験教室を開催します。

日時：9月20日（土）

10:30～12:00

場所：宇治市黄檗体育館

多目的アリーナ

申込みは9月12日（金）

までに母子連事務局まで



（前回の様子）

令和の米騒動といわれる米不足と価格高騰、あらゆる商品の物価上昇で家計は火の車です。「子どもにおなかいっぱいご飯が食べさせられない」「エアコンの電気代が心配」と生活の不安が続く中、民間団体による支援をはじめ、京都府や京都府社協の支援による食料品等の配布は、それぞれの地域で活用できて、本当にありがたかったです。でも、一部の人にしか届いていないのではないかと気になります。みんなが心配なく暮らせるように考えることを大切にしたいですね。（小玉）

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 常塚 朋子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

